

江の島小学校開校す

明治二十五年四月一日、江ノ島小学校を開校した。通学区域は高坂・下の江・浜開発・濁池・重住・印内・福嶋・根上の八区であった。

開校当時は修学年数は四年で、学級数は三学級、生徒は男一〇五人、女子、五十二人で、初めは下の江、と福嶋の小学校の校舎を借りての開校であった。

先生は、本保喜太郎、大田俊政、米沢與三松、米田幸太郎、宝達初枝、小竹幸、であった。

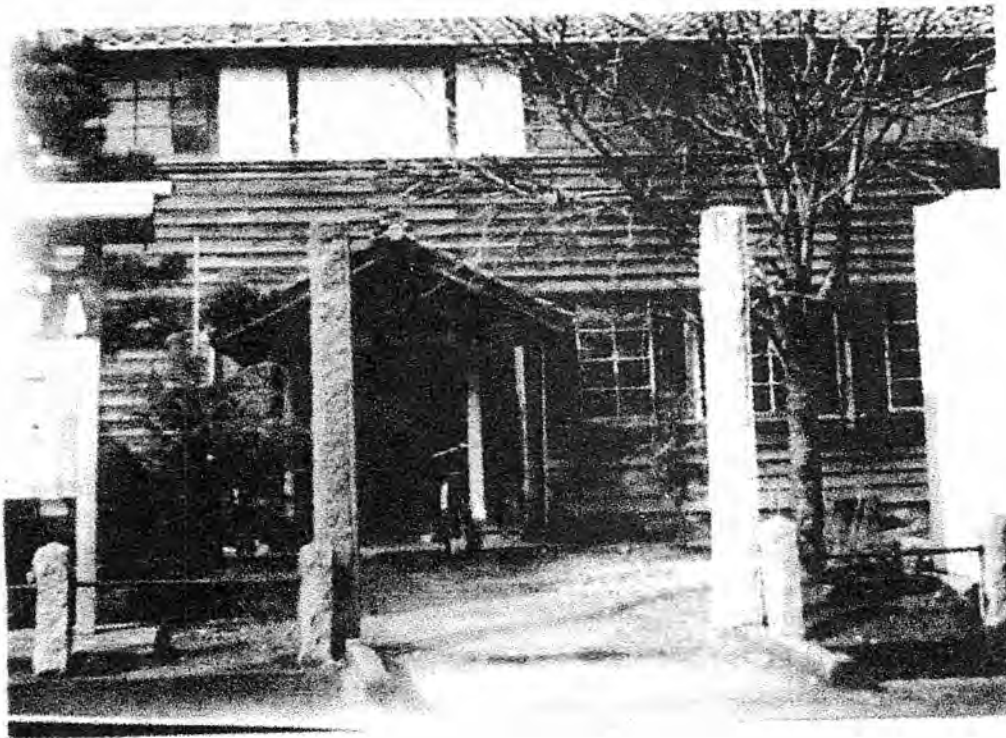
学務委員は、岸宇兵衛、中野仁松、北山又右衛門、福田市郎平、朝本栄吉、本保喜太郎、米田幸次郎で、七月二十日に新校舎が濁池八十番地に完成し、落成式を挙行了した。

この建物は後に「根上町役場」になったものであり、元の福嶋校や下の江校の校舎を接合して改築したものであったと言う。

内容は、普通教室四、裁縫教室一、等で建築費は、五百九拾三円四十六銭であった。

江の島校で夜学始まる

明治二十七年の冬、修身・読書・作文・算術を教え、生徒は五十七名であったし、先生は二名で、十二月初めから翌三月末までで、授業は村の補助であった。



江ノ島小学校校舎

後、根上役場になり
根上郵便局になった。